

河川整備計画の目標に関する事項

洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する目標

- 洪水を安全に流下させるための対応

河川整備において目標とする流量

河川名	基準地点	目標流量 (m ³ /s)	既設ダムによる洪水調節流量 (m ³ /s)	河道整備流量 (河道の整備で対応する流量) (m ³ /s)	対象洪水
那賀川 (国管理区間)	古庄	9,000	500	8,500	昭和25年9月洪水(ジェーン台風)
那賀川 (県管理区間)	和食	9,000	800	8,200	昭和25年9月洪水(ジェーン台風)
那賀川 (県管理区間)	出原	2,100	—	2,100	
宮ヶ谷川 (県管理区間)	那賀川合流点	50	—	50	
派川那賀川及び桑野川(国管理区間)	大原	950	—	950	平成11年6月(梅雨前線)
桑野川 (県管理区間)	大原	900	—	900	
岡川 (県管理区間)	文化橋	150	—	150	
畑田川 (県管理区間)	岡川合流点	80	—	80	
大津田川 (県管理区間)	大津田川樋門	50	—	50	
廿枝川 (県管理区間)	桑野川合流点	50	—	50	
南川 (県管理区間)	桑野川合流点	120	—	120	

- 局所洗掘への対応
 - ・堤防整備済区間において、堤脚部の局所洗掘が懸念される区間については、堤防補強等を実施。
- 堤防漏水への対応
 - ・堤防整備済区間において、河川水等の堤防への浸透に対して著しく安全性が低い区間については、堤防補強等を実施。
- 内水氾濫への対応
 - ・家屋浸水被害が著しい地区について、必要な内水対策を行い、床上浸水被害を解消。
- 大規模地震・津波等への対応
 - ・東南海・南海地震による損傷・機能低下に伴い、地震発生後に来襲する津波等に対して必要な対策を実施。
- 危機管理への対応
 - ・防災情報の共有を目的とした施設の整備等の必要な対策を実施することにより、被害を軽減。

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標

- 流水の正常な機能の維持
 - ・利水基準点和食において、かんがい期最大 32m³/s、非かんがい期最大 14m³/s を確保。
- 河川水の適正な利用
 - ・利水安全度を現況約 1/3 ～ 1/4 から約 1/7 に向上。
 - *利水安全度 1/7 とは、概ね7年に1回程度起きる需要量の不足分まで補給可能な容量を確保できることを示す。
- 水質の保全
 - ・長安口ダムからの放流水の濁水長期化については、発電放流水の水質を改善し、濁りの水質指標である浮遊性物質(SS)の環境基準値(25mg/l以下)が達成できていない日数を1/2程度に低減。

河川環境の整備と保全に関する目標

- 動植物の生息・生育に関する目標
 - ・河床状況の変化が魚類等の生息・生育状況に及ぼす影響を把握し、清流と砂レキの復活を目指す。
 - ・平瀬の再生と清流の復活を目指す。
 - ・堰等の設置・管理において、魚類等の移動の連続性が確保できるように配慮し、豊かな生態系の保全に努める。
- 河川景観に関する目標
 - ・濁水の長期化を低減させ、清流の復活を目指す。
- 河川空間の利用状況の目標
 - ・住民が主体となって利用される川づくりを目指す。

河川整備の実施に関する事項

洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減に関する事項

那賀川【国管理区間】

- 洪水を安全に流下させるための対策

【堤防の整備】

- ・持井、深瀬、加茂箇所の堤防の整備。
〈延長：約 1.8km〉

【河道の掘削等】

- ・流下断面が不足する区間の河道内樹木の伐採、河道の掘削を実施。
〈樹木の伐採：約 1.2km、河道の掘削：約 1.4km〉

【ダムによる洪水調節】

- ・長安口ダムの治水容量の増強を実施。
- ・ダム放流能力の増強のため、長安口ダムに洪水吐き(オリフイスゲート)を新設。

- 局所洗掘対策

- ・局所洗掘に対する安全性照査の検討結果から対策が必要と判断された箇所について必要な対策を実施。

- 堤防漏水対策

- ・漏水に対する安全性の点検結果から、対策の必要な箇所について計画的に実施。〈延長：約 5.9km〉

- 内水対策

- ・熊谷川排水機場(5m³/s)を整備するほか、家屋等の浸水被害の著しい地区について、必要に応じて対策を実施。

- 大規模地震・津波対策

- ・河口部の水門・樋門について耐震補強等の必要な対策を実施。
- ・高潮堤防により津波による被害を防止できるところは、必要な対策を実施。

- 防災関連施設の整備

- ・那賀川防災拠点(仮称)を整備。

那賀川【徳島県管理区間】

- 那賀川

- ・和食地区において、浸水防止施設等の整備。
- ・十八女地区、水井地区、土佐地区の狭隘地区において、輪中堤、嵩上げ等を実施。
- ・出原地区において、堤防の整備及び河床の整正を実施。

- 宮ヶ谷川

- ・堤防の整備、河道の掘削等を実施。
〈整備区間：0.31km〉

桑野川【国管理区間】

- 洪水を安全に流下させるための対策

【堤防の整備】

- ・宝田・本庄・大原箇所の引堤および会下、石合箇所の堤防の整備を実施。〈延長：約 4.0km〉

【輪中堤・嵩上げ等】

- ・オワタ箇所において、輪中堤、嵩上げ等を実施。
〈延長：約 0.2km〉

【河道の掘削等】

- ・流下断面が不足する区間の河道の掘削を実施。
〈河道の掘削：約 1.4km〉

- 内水対策

- ・川原排水機場(5m³/s)、大津田排水機場(10m³/s)を整備するほか、家屋等の浸水被害の著しい地区について、必要に応じて対策を実施。

- 大規模地震・津波対策

- ・高潮堤防により津波による被害を防止できるところは、必要な対策を実施。

- 防災関連施設の整備

- ・那賀川・桑野川河川防災ステーション(仮称)の整備。

桑野川【徳島県管理区間】

- 桑野川

- ・堤防の整備、河道の掘削等を実施。〈整備区間：11.05km〉

- 岡川

- ・堤防の整備、河道の掘削等を実施。〈整備区間：3.40km〉

- 畑田川

- ・堤防の整備、河道の掘削等を実施。〈整備区間：1.80km〉

- 大津田川

- ・河道の掘削等を実施。〈整備区間：1.45km〉

- 廿枝川

- ・河道の掘削等を実施。〈整備区間：0.73km〉

- 南川

- ・河道の掘削等を実施。〈整備区間：1.15km〉

流水の正常な機能の維持に関する事項

ダムによる水量の確保

- 長安口ダム
 - ・低水放流管を改造することにより、底水容量を利用するとともに、発電容量を不特定容量に変更。
 - ・今後の堆砂量を抑えるため主として長安口ダム貯水池上流において土砂の除去を実施。
- 川口ダム
 - ・底水容量の一部をもとに、新たに不特定(利水)容量を確保。

水質保全対策

- ・長安口ダムの発電取水口に選択取水設備を設置。